

農村地区光回線の整備について

農村地区への光回線の整備については、国の補助事業や交付金などを活用し未提供のエリアの整備を予定しております。

現在、設計を進めているところで、9月下旬ごろから対象地域での工事が開始となる予定です。工事の際には、民地への立ち入りや道路の占用などが必要となる場合があるため、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

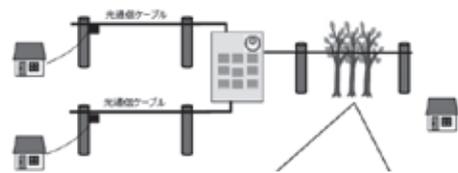
事業主体：NTT東日本
 工事業者：株式会社つうけん 苫小牧事業所
 （下請けとして8社が和寒町で工事を実施します。）
 設計業務：令和3年9月まで
 工事予定期間：令和3年9月下旬～令和4年2月下旬
 利用開始時期：令和4年4月以降
 （詳細については決まり次第お知らせします。）

・加入手続きについて

すべてのエリアの整備完了後にご案内となります。正式な時期が決まり次第改めてご案内いたしますので、対象地域の方々には、大変お待たせすることとなりますがご理解とご協力をお願いします。

・樹木の伐採のお知らせ

工事の実施にあたり、通信ケーブル付近に樹木があると工事の支障となるため、樹木の伐採をさせていただきます。工事を行う際には、ご迷惑を最小限にとどめるよう細心の注意を払って行いますが、工事の際に発生する騒音や振動等、道路の通行規制などでご迷惑をお掛けする場合があります。



イメージ図
支障となる部分を伐採します

お問い合わせは総務課情報管理係（TEL32-2421）まで

こんどう じゅうぞう 近藤 重蔵 って誰？

No.2 生誕 250 年を迎えて

北海道という地名の元になった「北加伊」を考案した松浦武四郎は 1845 年から何回も蝦夷地を訪れ、詳細に地形や地名などを調べ正確な北海道地図（北海道国郡全図 1869 年）を完成させました。

重蔵は、武四郎よりも 47 年前に初回の蝦夷地の調査探検を行っており、このときは択捉島にわたり、「大日本恵登呂府」と記した標柱を建てています。

この帰路で、狭く危険な道ではなく人馬が安全に通れる通路を造る工事（広尾町の地域）を行っているほか、数回にわたる踏査の体験から、アイヌの人たちから教わった冬の道＝マタル、夏の道＝サクルを記録し（和寒町にもマタルクシュケネブチ川、サクルシュケネブチ川があります）、重要な道路の整備案も示しました。

1802 年に重蔵が作った「蝦夷地図式 乾」は、今の北海道とほぼ同じ形をしています。

（それまでの色々な人物が作成した地図は歪な形のものが多かった）

【図書館にある資料を紹介します】

北方人物詩 蝦夷から北海道へ（吉田武三 著）
 近藤重蔵と近藤富蔵（谷本晃久 著）



近藤 重蔵

お問い合わせは産業振興課・町立図書館まで